

事業者向け放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月5日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ならはし

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室、静養室等4部屋あり、活動等によって部屋を使い分けている。 また、ホールを使用し、運動療育、集団あそび等、一人ひとりの課題に応じたねらいのもとに、様々な活動を工夫して取り入れ、一人ひとりの発達支援に努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			管理者兼児童発達支援管理責任者1名、児童指導員（保育士）6名、事務1名。 職員の配置基準を超え、十分に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		子どもたちの動線を考え、快適に生活できるよう日々環境改善に努めている。 トイレのバリアフリー化ができていなく、様々な障害に対応できるよう、改善していきたいと考えているが、現状は支障がない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日の職員ミーティングで振り返りを行い、計画の見直しや支援の仕方などを話し合い、業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け放課後等デイサービス評価表を活用し、保護者の意向の把握、改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページURL→ http://ho-day-narahashi.com
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			障がい児成長支援協会の会員となり、「感覚統合の基本」「生活支援の基礎」「運動療育」「危機管理」「人権と虐待」「応用行動分析学」等、様々なテーマの研修に月に1～3回参加し、職員の資質向上に努めている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			必要な情報を丁寧に聴きとり、個々のニーズや課題を整理し、一人ひとりに合った個別支援計画の作成に努め、具体的な支援に繋がるようにしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールをもとに、収集すべき必要な項目を選定したアセスメント用紙を作成、一人ひとりの状況の把握に努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			一人ひとりの課題に応じたねらいのもとに、職員ミーティングで活動プログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個別・集団活動、制作活動、運動、戸外活動、自然体

	夫しているか			<p>験活動、栽培・収穫体験、季節の行事等を組み合わせ様々な経験ができるよう工夫している。</p>	
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		<p>季節に合った活動や行事、様々な経験ができるように工夫し計画を立てている。1日利用時は、子どもたちの希望を聴きながらスケジュールを決め、主体的に充実した活動ができるよう努めている。</p>	
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<p>日々の記録を整理してモニタリング報告書を作成し、事業所内サービス担当者会議にて計画の見直しを行い、立案している。一人ひとりの課題に応じたねらいのもとに、制作、運動、個別活動、集団活動等、様々な活動を工夫し、発達支援に繋がるように取り組んでいる。</p>	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<p>毎朝、職員ミーティングを行い、昨日の振り返り、支援の内容、活動内容、役割分担等を確認している。</p>	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		<p>支援終了後にミーティングの時間をとれないため、翌朝のミーティングで行うようにしている。特別な事項があった際は、その日のうちに情報共有できるようにしている。報告・連絡・相談を密にし、チーム支援に努めている。</p>	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<p>職員間で情報を共有し、細かく記録をとり、支援の検証・改善に繋がるよう努めている。</p>	
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<p>定期的にモニタリングを行い、事業所内サービス担当者会議で支援計画の見直しの必要性を判断している。</p>	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		<p>5領域のねらい及び支援内容に準じて、個々のニーズに合った支援提供ができるよう、個別支援計画を作成している。ねらいを達成するために必要な支援内容を具体的に提供しているが、「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み合わせ支援を行うことを考慮し、工夫している。</p>	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		<p>保護者を通して、情報共有、連絡調整を行っている。必要に応じて、相談支援専門員を通して学校との担当者会議を開催したり、学校への迎え時に相談や情報共有ができるようにしている。</p>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			<p>現時点では、医療的ケアを必要とするお子さんの利用がない。ニーズに応じて、必要な対応ができるように、体制整備に努める。</p>

	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		利用開始前に、相談支援事業所が開催する担当者会議に参加し、情報共有と相互理解に努めている。 また、標準化されたアセスメントツールをもとに、収集すべき必要な項目を選定したアセスメントシートに情報を整理し、職員に周知している。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			未だ移行するケースはないが、保護者の同意を得た上で円滑に情報提供や引継ぎができるようにしたい。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		酒田市障がい者地域自立支援協議会専門部会「児童・発達支援部会」、育ちのサポート研究会等、地域の研修に積極的に参加している。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	夏休み期間、地域のプールに週3回通っているが、児童クラブの子どもたちと一緒にいることが度々あり、場を共有して活動する良い機会となっている。 ひらた里山の会協力のもと、タケノコ掘り、サトイモ苗植え、栗拾い等、様々な体験ができるように計画しているが、イベントを通して地域の方々との交流がある。 また、ボランティアを受け入れ、小学生、中学生、高校生、大学生等、積極的に地域の方々との交流を図っている。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		酒田市障がい者地域自立支援協議会専門部会「児童・発達支援部会」、育ちのサポート研究会等、地域の研修に積極的に参加している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートや送迎時に丁寧に伝えるよう努めている。また、必要に応じて電話で話をしたり、面談を行い、共通理解ができるように努めている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	以前、講師の先生にペアレント・トレーニングの依頼をしたところ、ペアレント・トレーニングは短時間でできるものではなく、大概1回が90分、全10回のセッションがあり、隔週で実施されることが多いと説明を受けた。長期に及ぶペアレント・トレーニングに保護者の方が参加できるか？と考えると、短時間で保護者の方が参加しやすく、興味関心のあるテーマで講演等を計画し、参加していただく方が良いのではと考え、来年度開催を検討する。
保護者への説明責任等	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧な説明を心掛け行っている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング時や連絡ノート等で保護者からの子育ての悩みなどを伺い、事業所での様子や事業所で取り組んでいる支援の方法などをお伝えできるように努めているが、引き続き職員の資質の向上に努め、適切な助言、支援を行えるようにしたい。

	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今年度は、事業所主催で6月に保護者懇談会、7月に親子行事を開催した。保護者から「保護者同士でざっばらんにおしゃべりをする機会があると良い」という声があがり、保護者が「お茶会」を主催することになった。事業所も少しではあったがサポートさせていただき、11月に開催した。継続して開催できるようにしたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に苦情に関する窓口を案内し、適切な対応ができるように努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にお便りを発行し、行事や活動の様子を伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人ひとりの状態に応じて、あいうえおタブレットや筆談、視覚的教材等を活用し意思疎通・情報伝達に努めている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後、保護者の意向も考慮し検討していきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時、保護者懇談会時に「説明とマニュアルの閲覧」を行った。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年3回の避難訓練を実施している。避難訓練の実施報告を保護者の方にもお伝えする。 また、避難訓練年間計画を各ご家庭に配付し、周知に努める。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止及び身体拘束適正化委員会を定期的開催、指針の整備、事業所内研修及び外部研修に参加する等、適切な対応をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当事例はないが、身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を定期的開催、指針の整備、職員研修も定期的開催している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず利用開始前のアセスメント時にアレルギーの有無について確認している。該当するお子さんの場合は、医師の指示書に基づき対応する。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリとした場面があった時は、些細なことでもヒヤリハット報告書を作成し、今後の対応を検討、職員間で共有している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。